

お金の使い方

みなさんは、お金を上手に使えますか？使い込みすぎて、お金が足りない、なんてことはないでしょうか。

お金がなくなって困ってしまうことのないように、まず「必要なもの」と「欲しいもの」を区別して理解することが大切です。家賃、水道、電気、ガスのお金は、生活していくために「必要なもの」で、何よりも一番に支払えるようにお金を取っておかなくてはなりません。さらに食料（食べ物）、電話、保険、ヘルパーなどサービスの利用料、地域の自治会費なども、やはり生活のために「必要なもの」として支払えるようにしなければなりません。年金や給料から、これらの「必要なもの」のお金をまずとっておき、残ったお金で「欲しいもの」を買います。けっして、「必要なもの」のお金をとっておく前に、先に「欲しいもの」を買ってしまわないようにしましょう。

しかし、「必要なもの」のお金を取っておいて、後の残りを全部「欲しいもの」に使ってしまってよいということではありません。体の調子が悪かったら病院に行かなければいけませんし、家のものが何か壊れたら、修理したり、買い換えたりしなければいけません。散髪に行くこともあれば、時々下着や服を

買うこともあるでしょう。そんなときのために、少しずつ貯金もしておくことが大切です。

みなさんの「欲しいもの」は何でしょうか。本、お菓子、たばこ、お酒などは、1週間や1ヶ月でそれに使える金額をきちんと計算して計画しておかないと、ついつい買いすぎてしまうものなので、とても注意が必要です。また、映画、ボーリングなどのお出かけが好きなの人も、「必要なもの」のお金をとった後にいくら残るかを確認し、少し貯金もした上で、今月はお出かけにいくら使えるか、しっかり計画を立てなければいけません。

テレビやエアコンなど、とても高いお金が必要なものを買うときには、何か「欲しいもの」を減らすなどの工夫をして、お金を貯めてから買うようにしましょう。「必要なもの」の支払いをせずに買ってはいけません。

「必要なもの」と「欲しいもの」の区別は本当に大事なことで、これを間違えると生活できなくなってしまいます。このようなお金の計画を自分で立てるのが難しい場合は、一人で悩まず、必ず相談してくださいね。



お金に限りがあるように、自分にも限界がある。欲しい物を我慢する必要もあれば、大切な物を抱えるために両手が空くよう、何かを捨てたり諦めなければならないときもあるんだなあ。

(見学)